



執筆協力 編集室システムU okamura.nobuyoshi@gmail.com

共産党西多摩・青梅地区委員長 数野氏に聞く

行き詰った資本主義 苦しむ若者を糾合 衆院選 比例区で票を伸ばし議席増狙う

生まれた青梅市を含む西多摩地域で 党専従者としておよそ半世紀、共産党の活動を支えてきた西多摩・青梅地区委員長の数野一さん(75)に党の今を話してもらった。組織の高齢化による地力の衰退は否めないが、行き詰まった資本主義社会の中で悩み苦しむ若者は多く、党の綱領を理解してもらう努力さえすれば共感者は増えるという希望を捨てていない。(岡村信良)

4月の統一地方選で 共産党は大敗を喫した。党首公選制を主張したベテラン党員を除名処分にしたことが物議をかもし、頼みの綱

数野「組織は若返りが必要だ。現状は勢いが足りないのは確かだ。党員の皆さんが赤旗読者を守り広め、各議員の後援会通信を届けて地盤を固めているが、先んずきは楽観できないし、正直厳しい」

数野「2021年の総選挙で、政権の一角を担うとして、市民と共産や立憲民主など野党による共闘選挙を展開した。進めば波が立つ。反共宣伝はすくつかつた。22年の参院選でも共産党包囲網が敷かれた。志位和夫委員長



およそ半世紀、共産党活動を支えてきた西多摩・青梅地区委員長の数野一さん

数野「共産党ほど勉強する党はないと言われる。党の綱領、規約を讀み、勉強会で培った理論は、政治の場での言論戦に生きる。男女を問わず理論を磨き、仲間を増やすことが大事だ」

青梅市長選 浜中市政看過できず 独自候補模索

国、ロシアを偉大な国と仰いでいた時期はあったが、中国共産党の、大国主義・覇権主義は、世界の平和と進歩への逆流、と指弾している。日本共産党は自主独立の路線を歩んでいる。日本共産党が力を付けることで、誰もが生きていくことが大切だ」

Advertisement for 'Fukuraku' nursing home, featuring a photo of the building and contact information.

Advertisement for 'Kunipaku' real estate services, including contact details for a representative.